

開催日：2017年9月9日（土）・10日（日）

会場：心身障害児総合医療療育センター

Habilis Kids Project PAFF meeting

“ 3D printer workshop for kids! ”



実践的なワークショップを開催しました

「医療スタッフのための 3D Printer Workshop (2017/6/24 開催)」に引き続き、3D プリンターのワークショップを心身障害児総合医療療育センターで開催しました。講師は慶応義塾大学 SFC 研究所の吉岡純希先生にお願いしました。

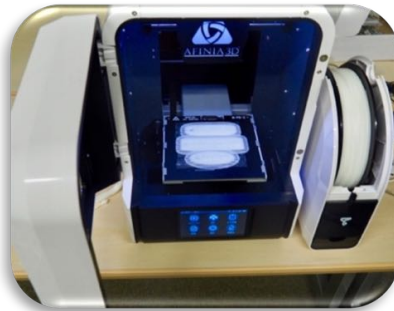
今回は上肢欠損のお子さんと、その家族を対象とした PAFF meeting と、医療従事者向けのセミナーを合同で行いました。

イベントでは、お子さんと医療従事者がペアとなり、お子さんに合わせたおもちゃをデザイン・製作しました。「使う人のことを考えたデザインを決め、実際に作り、そして合わせる」を目標にし、医療従事者は実践に近い環境で 3D プリンターについて学ぶことができたと思います。そして、参加していただいたお子さん、ご家族の皆さんには情報交換・交流の「場」の提供を行いました。



思い思いのネームプレートを作ってみる

医療従事者はペアとなったお子さんのネームプレートの 3D デザインをパソコンで行いました。電車・星・いちごなど、お子さんのリクエストを聴きながらデザインを決めていきました。そして、3D プリンターで少しずつ形が出来上がるネームプレートに、子どもたちは興味津々。完成したネームプレートはどれも個性あふれるデザインでした。完成したネームプレートはお子さんにプレゼントしました。



おもちゃ作り

おもちゃの“弓矢”を作りました。弓矢は片手で弓を持ち、もう一方の手で弦を引き矢を放つという、難易度の高い両手動作が求められます。“弓”は 3D プリンターで製作、“弦”は輪ゴム、“矢”は安全性を考え綿棒や竹ひごです。おもちゃと言って侮るなかれ、工夫次第で矢はまっすぐ遠くまで飛びます。



医療従事者はお子さんに合わせた弓の持ち手をデザインしました。持つのは「手」とは限りません。お子さんの可能性は無限大、それに応えるのは医療従事者のみなさんの発想力。みなさん真剣な表情で取り組んでいました。



家族交流会

医療従事者がおもちゃのデザインを進める間、ご家族同士の交流会を開催しました。普段から義手に関わる専門家も加わり、日常生活のこと、学校での生活のこと、普段から気になっていることを話題に話し合いをしました。交流会は終始和やかな雰囲気でした。今後も PAFF Meeting がご家族同士の交流、そして、情報共有の「場」としての役割を担っていきたいと思います。



2日目

おもちゃを完成させる

初日にデザインした持ち手は 3D プリンターで製作しました。弓の部分は硬さのある材料で製作し、持ち手部分は柔らかさのある材料で製作しました。最終的に弓と持ち手を 3D ペンを使い接着して完成です。3D ペンは 3D プリンターと同様の材料（フィラメント）を溶かしながら加工することができます。グルーガンのように接着時に用いることもできますし、小さな部品を作ることも可能です。参加者の皆さんは弓と持ち手が確実に固定できるように、慎重に作業していました。



おもちゃを使ってもらい、そして微調整

おもちゃはお子さんに遊んでもらいながら、持ち手と弓の角度の微調整を繰り返し行いました。お子さんが使いやすく、楽しめるおもちゃになるように、試行錯誤を繰り返しました。みなさん楽しいながらも真剣に取り組んでいました。そして、お子さんはお祭りの射的風にマスを狙い、おもちゃで楽しく遊んでいました。みなさんの歓声と笑顔があふれるイベントになりました。



参加者の声

医療従事者の方からは「実際に“人”に合わせて作る体験できてよかった」「お子さんから率直な評価をもらえたことがよかった」など、デザインが“形”となり、使ってもらうことに対するご意見をいただきました。また、作業療法士、義肢装具士の方が参加されておりましたので、装具や自助具など、実用的なものを3Dプリンターで製作することへの興味をもっていただきました。

ご家族の方からは「楽しかった!」という感想が多かったことは我々も嬉しく思います。また、「学校や日常生活での情報共有ができたことが良かった」「子育ての悩みも話し合えて良かった」などの意見をいただきました。「PAFF Meeting も回数を重ねるごとに、顔なじみの家族が増え、様々なお話、情報交換ができるので楽しい」という意見もありました。今後も情報交換・共有ができる「場」を提供できるように頑張っていこうと思っています。

ご参加いただきました皆さまありがとうございました。



平成 29 年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



〒104-0041

東京都中央区新富 2-5-10

MAIL : habilis.japan@gmail.com Site : <http://habilisjapan.wixsite.com/habilisjapan>